

第87回番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和3年3月23日(火)
2. 開催場所 COM倶楽部会議室 (箕面市船場東2-5-47 COM3号館5階)
3. 委員の出席 委員総数 6名
- 出席委員 5名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、神垣美代香、
中川弘佳、桑田政美
- 欠席委員の氏名 智内威雄
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (代表取締役社長)
太平麻由美 (取締役放送局長)
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 「ラジオ歌って笑ってお口の教室」
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

箕面市の歯科衛生士が、毎月健康や福祉にまつわるゲストを迎えて、お口の健康ミニ知識を伝えるほか、^{ごえん}誤嚥性肺炎予防のためのお口の体操（パタカラ体操）や、季節の歌を歌い、ラジオを通して楽しくお口を鍛えています。

みのおエフエムでは、コロナ禍で、家で過ごすことが多くなった市民のかたに向けて、箕面市の保健師、歯科衛生士、栄養士、理学療法士、作業療法士といった健康のエキスパートに呼びかけ、今すぐできる健康づくりに役立つ情報を放送しました。

(1 回目の緊急事態宣言発令から一週間後の 2020 年 4 月 14 日～5 月 30 日放送)

その中で、歯科衛生士のかたから、コロナの影響で中止になった市の介護予防教室を、ラジオを通じてできないかと相談があり、番組の構成などを話し合っただけ、年度末まで放送することが決まりました（協賛）。

ゲストには、音楽療法士や歯科医、歌手など、お口に関するエキスパートたちを迎え、歯科衛生士さんのリードで、お口の健康を知り、お口を鍛えることを繰り返し伝えていきます。1 月は他市の病院に勤務する言語療法士と音楽療法士を迎え、発声のしくみや、喉や肺の話を、3 月はスペシャルゲストとして、前箕面市長の倉田哲郎さんを迎え、主に働き盛りの世代の健康感や、予防にまつわる話しを、歌を交えて放送しました。

この放送の実績により、2021 年度は、「健康はお口から！パタカラジオ」とタイトルを一新して、継続して健康情報を放送することが決まっています（費用増額に成功）。

(2) 審議

委員 A：とてもいい番組だというのが第一印象です。娘が歯科衛生士をしているのでパタカラ体操のことも聞いていたし、自粛が続いて歯医者さんに行けない

かたが増えていることも聞いていましたので、それらのかたがどうやって情報を得ているのかと思っていました。番組が、少しでも予防につながると良いなと思います。コロナがきっかけで、実際に地域に出向いてできなくなったことをラジオでしようという流れがあったのでしょうか、ラジオの力というか強みが発揮できる番組ではないかと思って聴いていました。1月の放送分は、専門家を招いて、お口まわりの体操が大切という話もありましたし、内容的に聞きごたえがありました。3月の放送分は、ゲストが倉田前市長で驚きましたが、倉田さんは箕面市民ならみなさん知っておられるから、身近に聞いていただけたのではないのでしょうか。市民代表みたいな感じで、いろいろと質問を上手にされていたのはさすがでした。身近なところからお口の体操を始めて、ラジオに親しんでもらって、こういう番組が少しずつ増えて行けばいいと思いました。コロナ禍で一人でラジオを聴いているかたが以前より増えているはずです。ラジオの良さを訴えていけない時期にきているのでは。この番組は良い宣伝効果があると感じます。

委員 B：私自身も高齢者の真っ只中で、誤嚥性肺炎という言葉をよく耳にしていますが、どういう病気なのかよく分かっていませんでした。お口の体操が大切だと知り、ラジオを聴きながらやろうと思いました。高齢者でも覚えやすいパタカラ体操の歌があるといいと感じました。コロナ禍でこういう番組は必要だと感じています。

委員 C：番組の尺が15分という抜群な長さで、聞き入っていたらすぐに終わったとか、もっと聴きたいというぐらいの長さが良い時間だと感じました。この番組は高齢者向けになっていますが、番組タイトルや構成を変えれば、子ども向けにもできる。最近、画面ばかり見ている、お口を動かさないお子さんがたくさんいらっしゃるの、お子さん向けに作るのもいいのではないかと思います。また、言語聴覚士や音楽療法士の先生のお話は、話し方や内容が分かりやすく誰にでも理解できる内容にさせていただいたので、どんどん出演していただきたいと思いました。パタカラ体操は、自分も一緒に歌ってみましたが、とても楽しく、15分間があつという間に終わってしまいました。おもしろかった、また聴きたい、次回も聞こう、と繋がっていくと感じました。誤嚥性肺炎についても良く耳にするので何となくは分かっていましたが、お口を鍛えることがそこに繋がっているのかと分かれば、より

お口の教室の重要性がクローズアップできると思います。

委員 D：15 分という時間。これは本当にちょうどいい。自分が歌っても聴いてもちょうどいい。それから放送意図についても、楽しみながら聴いて良く反映されている番組ではないでしょうか。自分もラジオに合わせてパタカラをやりました。実際に自分がやってみてこれはいいなと。ぜひ高齢者はやるべきだと思います。あと、歯科衛生士のお二人とゲストのやり取りも非常にスムーズでした。再放送を 3 回しているのも良いです。良いこと尽くめなのですが、良い番組なのに、他の番組にも共通するのですが残念ながら聴いている人が少ない。毎朝のラジオ体操で集まるかたに聞いてみてもほとんど知らない。これが一番の課題だと思います。いくつか、こんなことをすれば多少知名度も上がって聞いてもらえるのではと思うことを紹介します。ひとつは、地域のラジオ体操の世話役のかたにちらし配布を依頼する。それから、YouTube でも配信されていることももっと PR して、スマホがあればいつでも聞けるとアピールした方がよいと思います。また、番組表では、個々の番組のターゲット、どの世代向きなのかが分からない。たとえば高齢者向けの番組は黄色いマーカーで囲む、子育て世代向けの番組はピンクのマーカーにするなどすれば分かりやすいのでは。

委員 E：専門的な知識を持った人が出演し、歌いながらパタカラ体操をする。これはおもしろいと感じました。専門的な話は堅苦しいことが多いのですが、この番組は自然に聴けました。また、今コロナ禍で、家にこもっていると憂鬱にもなるし、ある程度発散したりコミュニケーションを取ったりしながら生きていることに気が付きました。その中で、この番組は、参加はできるし、それなりに発散して、自分が一人ではなく、みんなと参加して共通のいろいろなことをしているという風に考えて行動できるという良さがあると思いました。ラジオは付けっ放しにして自分の関心のあるときに手を休めて聞くというときもありますし、関心のないことは用事しながら付けておくだけということもあるでしょうし、ラジオもこれからの時代に合わせた存在にならないといけないと思います。

事務局：ご意見にありましたように YouTube も活用していますので、さらに SNS なども使って PR できるように考えています。違う年代向けにしてみても、と

いうご意見がありました。顔ヨガインストラクターのかたをゲストに、顔ヨガとパタカラ体操で、ほうれい線をなくす、口角をあげる、という取り組みも考えています。ラジオに加え、動画も使ってやろうと計画していますので、挑戦していきたいと考えています。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<https://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

令和3年3月23日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会